
「PMMA 膜を使用した CRRT のファウリングによる膜凝固の影響」

に関するお知らせ

このたび、当院で持続緩徐式血液ろ過器 CH-1.8W (PMMA 膜) を用いて持続的腎代替療法 (以下 CRRT) を実施した患者さんを対象に以下の研究を実施いたします。

本研究は、【埼玉医科大学病院 IRB】の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2022 年 1 月 1 日から 2024 年 6 月 30 日の期間に【埼玉医科大学病院】を受診し、急性腎障害、多臓器不全、敗血症性ショック等の診断で CRRT を実施した 20 歳以上の患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

サイトカイン吸着フィルター (cytokine adsorbing hemofilter : CAH) は、AKI に対する腎補助だけでなく、炎症性サイトカインをはじめとする各種メディエータの制御目的として選択されています。CAH の一つである PMMA (ポリメチルメタクリレート) 膜は、はまり込みによる吸着特性から時間の経過とともに膜間圧力差 (TMP) 上昇、濾過圧低下を認めることがあり、ファウリング (目詰まり) による膜凝固が問題となります。本研究の目的は、PMMA 膜を使用した CRRT のファウリングによる膜凝固と患者背景因子の関連性を検討することです。

3. 研究期間

病院長の許可後 ~ 2025 年 3 月 31 日まで

4. 利用または提供の開始予定日

2024 年 10 月 21 日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

1. 患者背景

- 性別、年齢、BMI、原疾患
- 2. CRRT 開始時の血液検査所見
- 3. CRRT 設定条件
 - 透析液流量、濾過流量、抗凝固薬使用量
- 4. 血液濾過器の施行時間（ライフタイム）
 - 22 時間継続達成率

この研究で得られた患者さんの情報は、【埼玉医科大学病院】において、研究責任者である岡田浩一が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

患者さんの検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・ 埼玉医科大学病院 腎臓内科 岡田浩一(研究責任者)
- ・ 埼玉医科大学病院 臨床工学部 鳴海敏行
- ・ 埼玉医科大学病院 臨床工学部 村杉浩
- ・ 埼玉医科大学病院 腎臓内科 天野博明
- ・ 埼玉医科大学病院 腎臓内科 友利浩司
- ・ 埼玉医科大学病院 腎臓内科 井上勉

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学病院 病院長 篠塚望

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

- ・ ご希望があれば、他の患者さんの個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書や研究の方法に関する資料を閲覧することができますので、以下の連絡先までご連絡ください。

埼玉医科大学病院 臨床工学部 鳴海 敏行
住所：〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38
電話：049-276-1639（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：PMMA 膜を使用した CRRT のファウリングによる膜凝固の影響

○研究責任者：埼玉医科大学病院 腎臓内科 岡田 浩一